

2025年度 スポーツ科学部スポーツ科学科 旧カリキュラム (2022年度以前入学生対象)														カリキュラムマップ	
DPI (実践的な知識・技能)										DPI (創造力と行動力)					
ディプロマポリシー	①スポーツ科学の学術的知識をもとに幅広い教養を修得し、社会を積極的に捉えることができる (把握する力)。			②スポーツの文化的価値の理解と言語スキルの習得を基礎とし、情報通信技術 (ICT) 等を活用しながら様々な事象に対して論理的・批判的・創造的に思考し、判断することができる (考え抜く力)。			③スポーツの社会的意義を学んで多様な価値観を受容し、他者を尊重して協働する態度を身に付け、高い倫理観を備えることができる (協調する力)。			④実体験を通じて獲得したスポーツの実践力を活かし、主体的に自身の成長と社会の持続的発展に寄与しようとする (挑戦する力)。		⑤スポーツ科学を通じて得た知見を国内外に発信し、あらゆるフィールドにおける課題の解決に活かすことができる (行動する力)。			
学部専攻科目															
科目区分	共通科目				コース科目			キャリア形成科目群							
科目	A群	B群	C群	D群	コース共通	a科目群	b科目群	c科目群	A群	B群	C群	D群	E群	F群	
科目群	A群	B群	C群	D群	コース共通	a科目群	b科目群	c科目群	A群	B群	C群	D群	E群	F群	
4年次					*スポーツ専門演習Ⅳ									保健体育特別演習Ⅱ	
3年次 または 3年次以上					*スポーツ専門演習Ⅰ *スポーツ専門演習Ⅱ		【競技スポーツコース】 トレーニング指導実習  【生涯スポーツコース】 運動処方論		スポーツ科学社会実装演習Ⅰ スポーツ科学社会実装演習Ⅱ			体育科内容・指導論(体育理論) 体育科内容・指導論(体育実技)		保健体育特別演習Ⅰ コーチング演習(水泳)Ⅰ コーチング演習(水泳)Ⅱ コーチング演習(ホッケー)Ⅰ コーチング演習(ホッケー)Ⅱ コーチング演習(サッカー)Ⅰ コーチング演習(サッカー)Ⅱ スポーツ指導実技	
2年次 または 2年次以上	*スポーツキャリア演習2			<a科目群> 実技実習a(トレーニング/体づくり運動) 実技実習a(水泳・水中運動) 実技実習a(スケート)  <b科目群> 実技実習b(ホッケー) 実技実習b(フニニ)  <c科目群> 実技実習c(柔道) 実技実習c(空手道)		【競技スポーツコース】 競技スポーツコーチング・トレーニング論 競技スポーツ心理論 競技スポーツマネジメント論 障がい者競技スポーツ論 競技スポーツ戦略・戦術論  【生涯スポーツコース】 スポーツ文化論 スポーツプロモーション論 スポーツマネジメント論 スポーツビジネス論 地域スポーツ論 スポーツメディア論	【競技スポーツコース】 競技スポーツ心理論 競技スポーツ技術論 競技スポーツ体力論 障がい者競技スポーツ論  【生涯スポーツコース】 子どもスポーツ論 障がい者スポーツ論 成人スポーツ論 健康力論 高齢者スポーツ論(要介護者を含む)	【競技スポーツコース】 競技スポーツ演習(コーチング・トレーニング) 競技スポーツ演習(体力) 競技スポーツ演習(バイオメカニクス) 競技スポーツ演習(ゲーム分析) 競技スポーツ演習(個人心理) 競技スポーツ演習(集団心理) 競技スポーツ演習(備前) 競技スポーツ演習(組織マネジメント)				保健体育科教育法(体育) 保健体育科教育法(保健) 保健体育科指導論 保健体育科指導論 <small>保健体育科指導論(要介護者を含む)</small> 衛生学(公衆衛生学を含む)	健康運動特別演習		
1年次 または 1年次以上	*スポーツ基礎演習	スポーツ史 スポーツ経営学 スポーツ哲学(体育原理を含む) 野外活動・教育論 コーチング論(理論・実践方法学を含む) スポーツ社会学 スポーツ心理学 スポーツ教育学 スポーツ政策論	機能解剖学 トレーニング論 スポーツ健康科学論 スポーツ生理学 スポーツ栄養学 体力論 スポーツ医学 スポーツバイオメカニクス スポーツ傷害論	<a科目群> 実技実習a(陸上競技) 実技実習a(器械運動) 実技実習a(ダンス)  <b科目群> 実技実習b(バスケットボール) 実技実習b(バレーボール) 実技実習b(サッカー) 実技実習b(ソフトボール)  <d科目群> 実技実習d(野外活動:キャンプ) 実技実習d(野外活動:富士登山) 実技実習d(野外活動:水辺) 実技実習d(野外活動:スキー)											
必修要件	7.4 単位														
カリキュラムポリシー	<b>教育内容</b> 1 学部専攻科目においては、スポーツ科学と隣接領域に関する実践的な知識・技能の活用力を学ぶ。また、実技・演習系科目では、各競技や各分野の実技・実践を通じて、創造力・行動力・指導力を身につける。 2 学部専攻科目以外においては、各科目群の履修を通じて、全学的に掲げられた能力を身につける。 <b>教育方法</b> 1 スポーツ科学と隣接領域の科目においては、講義によって知識・技能を伝授するだけでなく、知識・技能の活用力を育成するためにアクティブラーニング手法を用いた授業を実施する。 2 実技・演習系科目においては、各競技や各分野の実技を通じて、創造力・行動力・指導力を育成するために、実践型学習を実施する。 <b>評価方法</b> 1 スポーツ科学と隣接領域の科目においては、知識・技能の定着を測るだけでなく、知識・技能の活用力をパフォーマンスで評価する。 2 実技・演習系科目では、実行課程における行動計画と指導の成果に対するパフォーマンス評価を行う。 3 各授業の評価基準はシラバスと授業ルーブリックによって定める。 4 卒業判定は、スポーツ科学部履修規程に定められた基準によって行う。														
アドミッションポリシー	スポーツ科学部で求める人物は、ルールやマナーを尊重し、「大学生生活をおして幅広い教養と豊かな人間性を身に付けたいと願っている人」、「スポーツを行うこと、見ること、支えること、教えることなどに興味・関心がある人」を前提とする。 <b>(基礎的な知識技能)</b> 大学での学習が必要となる基礎的・基本的学力および運動能力を備えている人 <b>(思考力・判断力・表現等の能力)</b> スポーツや体育・健康に関わる今日的な課題を多角的に捉え、判断し、表現することができる人 <b>(主体性・多様性・協働性)</b> 周囲と協働しながら、以下に示す課題を達成しようとする人 ① 授業やスポーツクラブの活動をおして、競技力や運動能力をさらに高めること。 ② 授業やスポーツクラブの活動をおして、スポーツ科学の知と技(指導能力、研究能力、科学的サポート能力、マネジメント能力など)を実践的に身に付けること。 ③ 大学生生活で得た学修成果を、国内外でさまざまなスポーツ関連分野において活かすこと。														
備考	卒業要件や履修可能な科目については、入学年度により異なるため、入学年度の教育課程表もあわせて確認すること。														